



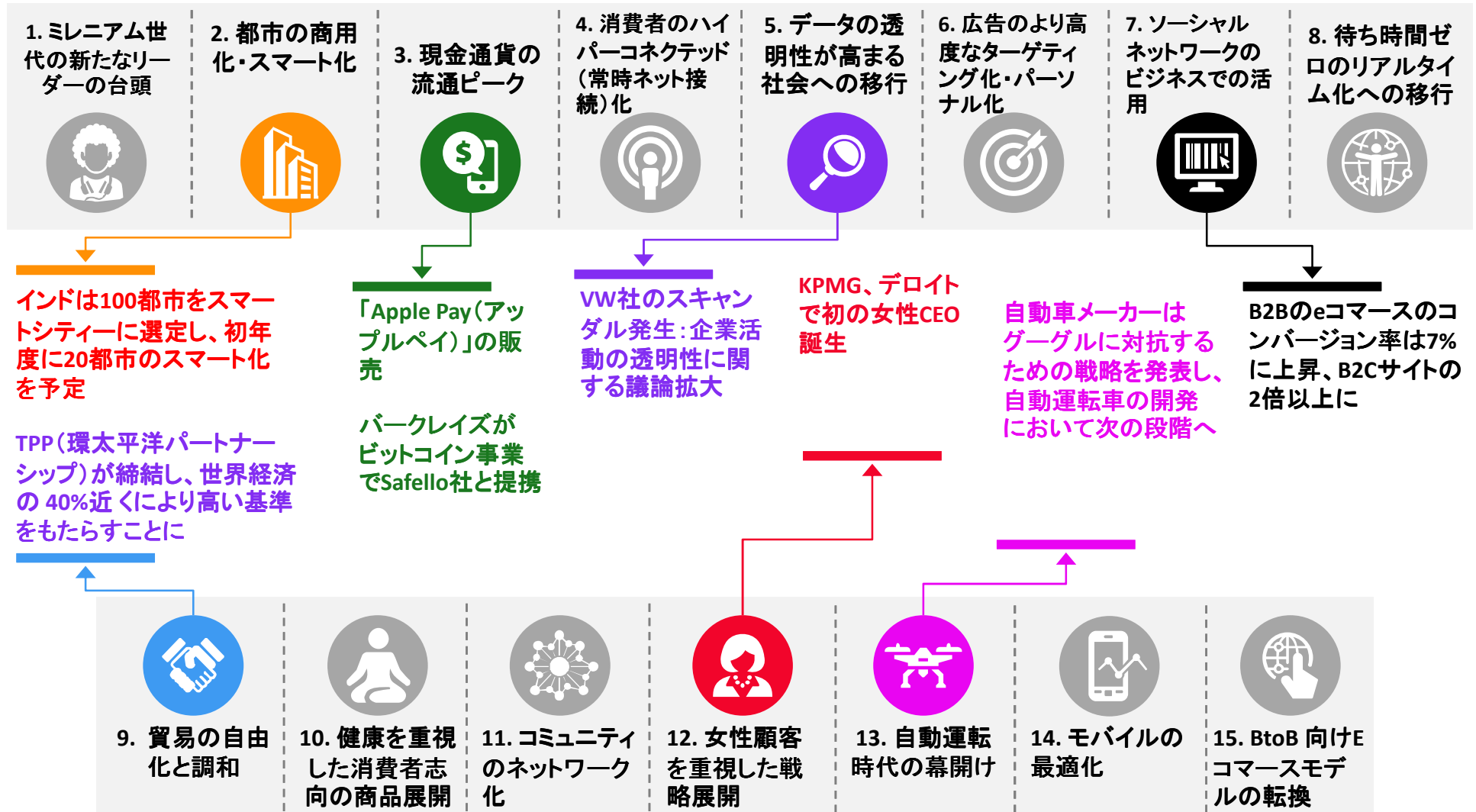
「2016年： 16のトレンド予測」

**Predicting the Top 16 Ideas and
Innovations that will Shape
Our World in the Coming Year**

FROST & SULLIVAN

2015年のトレンド予測の振り返り

2015年に実際に起こった出来事



「2016年:16のトレンド予測」



1. フィンテック(FinTech)革命: デジタル通貨の台頭

フィンテック革命が世界的に進化を遂げる中で、2016年以降、デジタルバンキングに対する消費者からの需要の高まりが予想されます。モバイル決済や仮想通貨、ピアツーピアの資金融資プラットフォーム、クラウドソーシングサービスは、最も大きな市場となる見通しです。ベンチャー投資によって、既に乱戦状態で細分化された市場に小規模企業が参入する状況が今後も続く状況が予想されます。



2. 企業の社会的責任への関心の高まり:消費者からの信頼回復

フォルクスワーゲン社の排ガス不正問題は、世界全体の自動車産業を揺るがす事態を引き起こし、その影響は自動車やディーゼルエンジンを越えた範疇にまで及ぶことが予想されます。この一連の問題により、規制や違反に対する処罰がより厳格化されることで、2016年以降もスキャンダルを引き起こす企業の出現が予想されま



3. 拡張現実(AR)を活用した eラーニングの普及拡大

eラーニング向けの拡張現実(AR)アプリへの注目の高まりに伴い、2016年には、モバイル機器を用いたeラーニングの普及が進むことが予想されます。今後eラーニングは個別化され、企業での研修やバーチャルでの現地調査、QRコードを使ったスカベンジャーハント、バーチャルでの自動車の運転講習や、数学・物理などの論理型の科目でのゲーミフィケーションの導入が進んでいくことが期待されています。



4. 仕事の二極化: 人工知能(AI)や自律ロボット が脅かす中所得者層の雇用

人工知能(AI)や自律ロボットによる自動化が人びとの雇用を脅かす事態は2016年も継続し、失業率の上昇に伴い、この問題は世界政治においても重要な議題に上がることが予想されます。米国の雇用市場では、中程度の技術を要する業務は1983年から2012年の間に14%減少し、この傾向は今後も継続することが予想されます。2016年以降、職務の標準化や所得分布、教育レベル及び専門スキルに基づく所得能力の二極化が進んでいくことが予想されます。

「2016年：16のトレンド予測」



5. ミレニウム世代の購買力・影響力の拡大

15才から34才のミレニウム世代と称される若い世代は、キャリアを積むにつれて自由に使える所得が増加することで、プレミアムサービスやブランド製品の購入を好むようになります。企業はミレニウム世代の消費曲線を分析し、彼らがどのタイミングでより高価なモノに買い替えるかについての予測を行うことは、2016年以降のビジネス戦略においてますます重要となるでしょう。



6. 国際貿易の自由化

EUが米国と交渉中の環大西洋貿易投資協定(TTIP)締結を目指す中で、段階を踏んだ長期間にわたる貿易協定交渉が2016年から開始することが見込まれています。これに伴い、二カ国間貿易のうちの3分の1が自由化されることが予測されています。



7. アジア市場の環境変化：中国の失速とインドの台頭

中国のGDP(国内総生産)成長率予測が7%程度に留まる中で、2016年の中国の成長速度は過去20年間で最も遅いペースとなる見通しです。中国が抱える負債や高い労働コスト、不動産市場の大幅な減退に伴い、企業は中国での事業展開におけるリスクと報酬の再評価を行う必要に迫られるでしょう。一方で、次第に力を増すインドでの海外直接投資は、2016年以降に劇的に増加することが見込まれており、中国との競争が激しくなることが予想されます。



8. シェアリングエコノミーの普及拡大：B2Bでのシェアリングサービスの開始

個人が保有する資産を貸し出すサービス「シェアリングエコノミー」は、2016年から法人向けサービスの開始と普及拡大が進むことが予想されます。社用車のカーシェアリングやホームシェアリングを筆頭に、Uber、Skype、Airbnbといった企業は、2016年に法人向けサービスの開始を予定しています。企業は自社が保有するリソースのスケールデメリットを排除し、100%の稼働率と0%の空き時間の実現を目指して、リソースを最大限に活用する取り組みを行うことになるでしょう。

「2016年：16のトレンド予測」



9. 女性購買者の台頭：B2Bの購買意思決定での女性の影響力拡大

現在、シニアレベルの経営者の5人に1人が女性となっており、国や企業、産業は男女数の均等化に向けた取り組みを進めています。2016年には、GDP成長や収益拡大を目的に、ダイバーシティ企業ランキングで上位に入ることを目指して、女性幹部の登用にに向けた積極的な政策がより多く打ち出されるでしょう。



11. サイバーセキュリティへの注視：データ、プライバシー規制の強化

米国や欧州が提示するデータ利用に関する規制は、データの利用用途を制限し、データ利用に関わる全ての当事者が責任を負う事を求めています。このようなデータ利用における規制強化は、単にデータの保存を行うクラウドストレージ・プロバイダであっても、情報漏えいで訴えられる可能性があることも示唆しています。このような法的リスクは、市場参加者がこの種の法律の成立を阻止しなければ、IoT(Internet of Things)市場の将来的な成長を阻害する可能性もあります。



10. 金融システムの再構築とブロックチェーンの台頭

2016年以降、金融システムや経済管理システムの再構築がなされ、従来の為替相場制や価格決定メカニズムが不必要なものになっていくことが予測されます。金融取引における従来のシステムからの移行は、データベース記録の改良や、制度的に安全な金融サービスの大衆的利用を世界中の人びとに提供する「フィナンシャル・インクルージョン」、そして金融システムの透明性を実現し、これらは安全が強化されたサイバーセキュリティの基盤となるでしょう。



12. 新興経済ホットスポット：メキシコ、ベトナム、ナイジェリア

ブリックス(BRICs)諸国における混乱により、企業はメキシコ、ベトナム、ナイジェリアといった新たな新興国に目を向けはじめています。世界経済において大きな影響力をもたらす潜在性を秘めた「Next11」にも含まれるこの3カ国は、好調な経済やテクノロジーの進化、強い社会成長を見せており、将来的に世界全体のGDPにおいて20%以上を占めることが予測されています。

「2016年：16のトレンド予測」



13. 中国・ロシア間の強力な同盟関係

ロシアと中国は2016年以降、通貨スワップとガスパイプラインを通じて、世界貿易の枠組みを大きく転換することが予測されます。通貨スワップはロシアの為替リスクの負担を回避し、これによりエネルギーなどの主要なセクターにおいて、中国企業が欧州の競合企業よりも優位に立つことが見込まれています。



14. アプリの衰退と新たなプラットフォームの誕生

1990年代前後から2000年代後半に生まれたジェネレーションZ世代のヘビーユーザーを持つ写真共有アプリのInstagramやSnapchatは、ソーシャルメディアとしてのFacebookの地位を脅かす存在となりつつあります。同時に、SiriやCortanaといったインテリジェントなソリューションは、多くのアプリ機能に取って代わりつつあります。2016年は、これらの新たなプラットフォームがビジネスで利用され、B2B及びB2Cマーケティングにおける活用が進むことが期待されています。



15. 消費者インセンティブの増加

2016年以降、特定の商品購入に向けた消費者に対するインセンティブの実施が増えていくでしょう。例えば、より安価な医療品を選択する見返りにひと月当たり500ドルを消費者に支払う形や、特定の検索エンジンを利用するユーザーに向けた何らかの報酬を与えるインセンティブ、また銀行口座の貯蓄を増やす利用者を対象にした懸賞などが挙げられます。



16. サービスとしてのマーケットプレースの台頭

ビッグデータやモバイルアプリ、ソーシャルコマース、プラットフォームは、インターネット上でモノの売買を行うマーケットプレイスにおいて無数のビジネス機会を生み出しています。2016年には、サービスとしてのマーケットプレースの成長が予測されており、従来のサプライヤーネットワークが占拠していた物流やヘルスケアといった多くの業種での導入が進むことが予測されています。ソーシャルコマースもまた、消費者へのアウトリーチ戦略に統合されるでしょう。

フロスト&サリバンについて

フロスト&サリバンは独自のリサーチに基づいて企業のビジネスを成長に導くグローバルな知見を提供し、ビジネスの新たな成長機会の創出からイノベーションの実現までを支援する、リサーチとコンサルティング機能の両方を兼ね備えた企業のナレッジパートナーです。

フロスト&サリバンは50年以上にわたり、グローバル1000企業、新興企業、公共機関、投資業界向けの成長戦略を開発してまいりました。

あなたの組織は次にやってくる激しい波——業界のコンバージェンス、破壊的技術、ますます苛烈になる競争、メガトレンド、画期的なベストプラクティス、変化しつつある顧客ダイナミクス、新興経済——への準備は整っていますか？弊社に今すぐご相談ください。

フロスト&サリバン ジャパン 株式会社

www.frostjapan.com

email: info.japan@frost.com

〒107-6123 東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル23F

TEL: 03-4550-2210(代表) FAX: 03-4550-2205